

裏金、報告書に不記載

過去5年の政治資金収支報告書へ不記載

計**85人** 総額**5億7949万円**

離党勧告や党员資格停止など

処分はわずか**39人**

5年で14人 自民党議員 起訴相次ぐ

2020年以降、東京地検特捜部に起訴された事例

- 2020年 1月 収賄罪
- 2020年 7月 公職選挙法違反
- 2020年 7月 公職選挙法違反
- 2021年 1月 収賄罪
- 2021年 6月 公職選挙法違反
- 2021年 12月 貸金業法違反
- 2022年 12月 政治資金規正法違反
- 2023年 9月 受託収賄罪
- 2024年 1月 公職選挙法違反
- 2024年 1月 政治資金規正法違反
- 2024年 1月 政治資金規正法違反
- 2024年 1月 政治資金規正法違反
- 2024年 8月 政治資金規正法違反
- 2024年 8月 詐欺罪

自民党議員による「政治とカネ」をめぐる不祥事はこの5年でも次々と発覚。根本から政治体質を変えないとこの問題が解決するはずありません。

衆参の自民党議員ら73人が、国会の政治倫理審査会（政倫審）で弁明することなく、今年の通常国会は閉会。全会一致で弁明を求めた国会の議決は「黙殺」されたまま、いまだに説明責任を果たしていません。解散すれば元通りとでもいう気なのでしょうか。



裏金議員73人、政倫審応じず弁明拒む

- 衆院 **ウラ金** 候補者
- 和田義明 北海道5
 - 木村次郎 青森3
 - 藤原崇 岩手3
 - 西村明宏 宮城3
 - 亀岡俊民 福島3 非公認
 - 上杉健太郎 福島3 非公認
 - 築和生 栃木3
 - 福田達夫 群馬4
 - 中根一幸 埼玉6 非公認
 - 柴山昌彦 埼玉8
 - 大塚拓 埼玉9
 - 三ツ林裕巳 埼玉13 非公認
 - 松野博一 千葉3
 - 義家弘介 神奈川16
 - 山田実樹 東京1
 - 丸川珠代 東京7
 - 下村博文 東京11 非公認
 - 平沢栄 東京17 非公認
 - 小田原潔 東京21 非公認
 - 萩生田光一 東京24 非公認
 - 細田一 新潟2 非公認
 - 高島修一 新潟5
 - 田嶋裕明 富山1
 - 小森裕司 石川1
 - 佐々木紀 石川2
 - 稲田朋美 福井1
 - 高木龍一 福井2 非公認
 - 若林健太 長野1
 - 宮下一郎 長野5
 - 宮澤博行 静岡3 無所属
 - 鈴木洋司 愛知7
 - 青山剛平 愛知12
 - 根本幸典 愛知15
 - 鈴木英敬 三重4
 - 中山泰秀 大阪4
 - 加納剛之助 大阪10
 - 宗清皇一 大阪13
 - 谷川とむ 大阪19
 - 関芳弘 兵庫3
 - 西村康稔 兵庫9 非公認
 - 世耕弘成 和歌山2 無所属
 - 井原巧 愛媛2
 - 宮内秀樹 福岡4
 - 武田良太 福岡11
 - 加藤竜祥 長崎2
 - 衛藤征士郎 大分2

- 辞職 不出馬
- 堀井孝 北海道9
- 菅家一郎 福島3
- 吉野正芳 旧福島5
- 林幹雄 千葉10
- 越智隆雄 東京6
- 今村洋史 東京9
- 塩谷立 静岡8
- 二階俊博 和歌山3
- 尾身朝子 比例北関東
- 杉田水脈 比例中国

自民党政治を このまま続けますか？

論戦から逃げ有権者を裏切る
「臭いものにふた解散」
表紙を変えるだけで
中身はそのままで。

旧統一教会問題は未解決！

旧統一教会と接点のあった閣僚
20人中11人 石破総理本人も



石破茂内閣の新閣僚20人のうち少なくとも11人に統一協会や関連団体との接点を有していました。黒い関係を持った面々の名前が悪びれもせずに並んでいます。

2013年参院選挙前に、当時の安倍晋三総理が自民党本部の総裁応接室で旧統一教会会長らと面談したことが判明。参院選挙への支援を協議？！

機密費から100万円

元官房長官が証言 国政選挙で

2000年以降の自民党政権で官房長官を務めた元政権幹部が、本来国政選挙への使用は不適切であるはずの内閣官房報償費（機密費）を国政選挙の候補者に渡していたことが明らかになりました。

裏金続投!? ちょっと待って!

政権交代こそ、最大の政治改革。

Column ——— 発言が二転三転 もう約束を守らない? 石破新総理の発言 ———



裏金問題、事件の実態解明のための再調査を拒否

裏金議員を公認!?

「それぞれの選挙区の事情、当選の可能性を判断材料に、選挙対策本部で適切に議論し判断」

国民の味方だと言ったのに…論争から逃げる

国会での首班指名前に解散表明の暴挙

「国民の判断というのは本当に厳粛に受けなければいけない。……本当のやり取りは予算委員会だ」

→事実上首相が衆院解散を判断する「7条解散」を否定していたのに、まさかの転換

旧統一教会問題も封印!臭いものにフタをする姿勢が

「党内の再調査が必要なのかという十分な判断材料を持っていない」

「政治とカネ」問題 幕引きは許しません。

本気の政治改革 立憲民主党		抜け穴だらけ 自民党
禁止	企業・団体献金	現状維持
強化	政治家の責任・罰則	政治家が「確認書」を作成するだけ
禁止	政策活動費	10年後の領収書の公開を検討 公開対象者は幹部のみ!?
公開	旧文通費	先送り
世襲を制限	国会議員の政治資金の世襲	資金も世襲

政治家の
なり手を
多様化

なんちゃって連座制
「会計責任者に
だまされた」と
政治家が
言い訳可能!

公開対象者は
幹部のみ!?
黒塗りも可能!
ブラックボックス
のまま

総裁選でも
候補者9人のうち
5人が世襲議員

国民への説明責任を果たさず、信頼を取り戻さないまま
自民党内の疑似政権交代で信を問うことはできません。

立憲民主党は本気の政治改革を実現します。

地域の立憲民主党はこちら



立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088